

損傷部分のタイル撤去張替え補修

施工手順

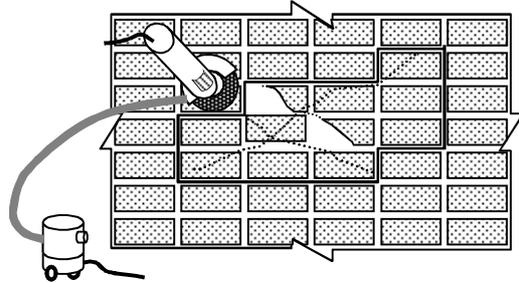
施工方法

補修範囲の確認

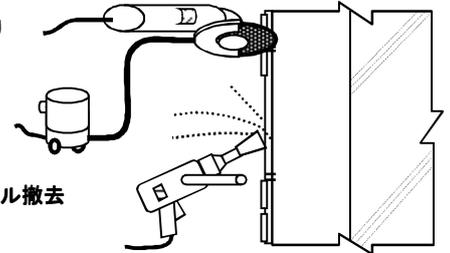
・テストハンマー等で打診し、浮きの状態と範囲を調べてマーキングし、補修範囲を確定する。
(復旧タイルの在庫確認及び張替部分の色変わりについて監督官に確認し、指示に従い作業を開始する。)

張替部分のタイル撤去

・ひび割れ部分のタイルは、健全部分との縁をダイヤモンドカッターで切込み後、チップパーで研り落とす。撤去作業は、健全部分のタイルを傷つけないように撤去し平滑にする。
※カット及び研り作業は、多量の粉塵を発生するので、必ず集塵、防塵対策を充分行う。



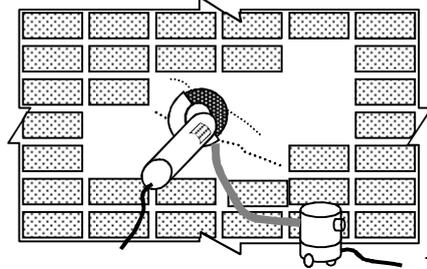
目地切り



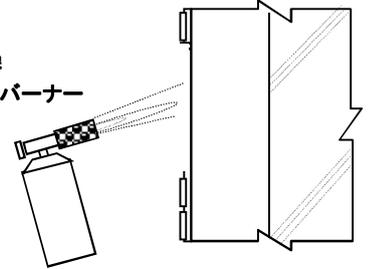
既設タイル撤去

下地調整

・タイル撤去面は、ディスクサンダーで残留陶片や目地セメントを除去し平滑にケレンする。
※ケレン作業は、多量の粉塵を発生するので、必ず集塵、防塵対策を充分行う。



サンダーケレン

湿潤乾燥
ブタンバーナー

・タイル撤去面が湿潤している場合は、表面を十分に乾燥させる。
※必要に応じタイルの熱割れ損傷がない様に穏やかな乾燥を行う。
バーナーによる加熱は、火気使用許可を確認し、周辺への引火や可燃物のない事を確認して行う。

接着剤の混合

・二液混合型のEMS20を使用する場合は、主剤1:硬化剤1の配合比率で計量し、均一になるまで攪拌する。
※使用材料は、可使時間内で使用可能量を混合する。

用途別適応性	製品名	混合比
広範囲張付け用(2成分系)	ボンドEMS20	主材1:硬化剤1
部分張付け用(1成分系)	エフレックスエフワン	1液型



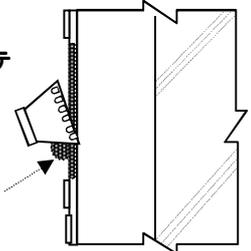
接着材

接着材塗布

・下地表面を清掃後、タイル貼付け接着材を櫛目コテで、均一に塗布する。
・塗布量: 1.5~2.0kg/m²

櫛目コテ

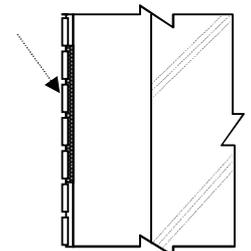
接着剤



タイル復旧張り付け

・タイルの張付けは、あらかじめ目地割りをを行い水系を張り目地の通りを確認しながら圧着張を行う。
※目地の通りを維持しズレが生じない様に養生する。

タイル陶片の接着



目地入れ仕上げ

・タイル張り付け接着材の硬化後、目地セメントペーストをゴムコテで目地へ充填した後、目地コテで目地深さを調整しタイル表面拭き取り仕上げる。

完了